

学校だより

第8号



平成27年11月27日発

ほめ言葉のシャワー

校長 鈴木 久之^{ひきの}

11月14日（土）に行われた「やまもも祭」では、多くの保護者や地域の方々に御来校いただき、ありがとうございました。当日は、時折雨に降られたものの御来校いただいた皆様の御理解と御協力により、子どもたちもこれまでの学習の成果を十分に発揮し、笑顔溢れるにぎやかなお祭りを開催することができました。子どもたちの努力と頑張りをも具体的にしっかりとほめて、次の学習につなげていきたいと思ひます。

このように学校でも「ほめる指導」を大切にしています。ほめることは、子どもの成長を「認めること」であり、「おだてること」とは、一線を画するものです。例えば、プールが苦手な児童には、「水に顔をつけられたね。すごい！」とできた瞬間に努力を見逃さずほめ、達成感から自信の芽を育てます。また、スポーツ大会で負けてしまった生徒には、「あきらめずに、最後までがんばっていたね。感動したよ。」と結果よりも姿勢をほめ意欲につなげます。

このように、「ほめる指導」は、「確認すること」とセットで位置づけられています。これからも、小さな成功体験を積み重ねられるように授業を意図的に仕組み、

- ①ほめ言葉の種類を増やし、力強く短くほめる。
- ②事実を具体的にほめる。
- ③名前を呼んでほめる。

このことを、花に水をあげるように

「ほめ言葉のシャワー」としてふりかけていきたいと思ひます。



【学校改善に向けた取り組み】

「開かれた学校づくり委員会」委員の皆様にご学校参観をしていただきました。

- ◆やまもも祭を初めて参観しました。子ども達の一生懸命な姿に感動しました。細部にわたる先生方の気配りが子ども達の姿に表れていると感じました。これからは学校の様子を見守っていきます。
- ◆施設設備の老朽化や環境整備が十分でない場所がいくつか見られ、気になります。例えば「リズム室のにおい（かび臭い）」や「前庭の遊具のさび」、「高等部昇降口の暗さと狭さ」です。
- ◆やまもも祭などの学校行事では、保護者が当日の運営等で協力できることがあるのではないのでしょうか。例えば、駐車場での誘導を、先生方と保護者が一緒に行うことで先生方と保護者の距離が縮まり、さまざまな面で相乗効果が期待できると思ひます。